

新型コロナウイルス禍に翻弄され困窮した子ども等のサポート

特定非営利活動法人学習支援ソサエティ“命の根”

1 事業が目指すところ

新型コロナウイルス感染症は社会不安をもたらし、社会全般への自粛要請の中で子どもはストレスを抱き恐怖に包まれています。経済活動の自粛で解雇され苦しさを抱えている家庭の中で、ゲームに熱中し昼夜逆転している子、怠惰な日々を過ごす子などは、心身の健康状態に不調を訴えるようになってきています。更に、波6波が押し寄せコロナ感染症が急拡大しているという不安と隣り合わせの生活をおくる子どもたちは「生きにくさ」感じています。本事業はコロナ禍で困窮している子どもの心のケアをする為に様々なサポートをしています。

2 活動内容

(1) コロナ禍で学習支援の必要な子へのフォロー

① 朝霧教室の活動日数(21回)

活動日	4/17・24	6月26日	7/3・10・24・31	8/7・14・21	10/2・9・16・23	11/6・13	12/4・11・18	1/8・15・22	合計
児童数	96	45	178	78	118	67	120	120	822
講師数	41	2	64	46	60	31	51	52	347

(2) 生活相談を通しての支援 相談回数 48回

関連機関との相談回数 7回



学習の様子

3 成果と課題

① 事例 学習用具を持たないで参加する子

いつも遅れて学習室に入ってきます。学習用具を持たず服は先週の服と同じで汚れが目立ちます。コロナ禍の影響で4月より生活態度などが顕著に悪化していることがわかります。「いらっしやい！待っていたよ。」と優しく先生は迎えます。プリントや筆記用具を用意しながら、学校の様子などを尋ねます。そしてグループで教え合いながら問題に挑戦させます。3人のグループで意見が飛び交い笑顔のなかに冗談も交じります。きっとこの子は居場所を求めてここに来たのだと推察できます。命の根の学習会に来てくれたことを私たちは喜んでます。

① 事例 学習用具を持たないで参加する子

② 関連機関との相談

・学校との相談と連携 ・民生児童委員への相談

4 今後の展望、成果の活用

コロナ感染症拡大防止のための緊急事態宣言が2度も発令された影響で子どもたちの心身に大きな影響が出ています。自粛生活の中で、ゲーム等に夢中になり、外遊びや子ども同士のコミュニケーションが減り、子どもらしい元気さや活力が見られなくなっています。学習意欲も学力も低下しているように見えます。

本事業の必要度は増し、更に濃密に子どもたちへ寄り添わなければいけないと考えています。

本事業を通して、子どもたちの内面を見ることができました。家にいたたまれなくて本学習会に来ている子や学習がわからず誰にも尋ねることができない子どもたちの内なる願いを察することができました。その願いを受けて、係わりを見直し、個々への対応を深めるための方法を考えていきたい歩みもあります。。



学習の様子

